

科目名	人間行動学	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）	
			経済 学科	□必修 ■選択
			法律 学科	□必修 ■選択
英文表記	Human Behavioral Science	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
ふりがな	たきざわ じゅん	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	瀧澤 純	修得単位	2単位	
授業のテーマ	人の行動に関連する学問を学び、それらに共通している方法論を身につける。			
授業概要	授業の第6回までは講義を行う。第7回以降は6人前後のグループを組み、人間行動学の研究法を学ぶ。第11回以降はグループで1つ研究案を考え、全員の前で発表する。			
到達目標	人間行動学の研究例と研究法について理解できるようになる。また、理解した知識を使い、日常にある人間行動を調べるための方法を考えることができるようになる。			
授業時間外の学習	日頃の生活で、人間の行動がどんな要素によって影響を受けているのかを考えること。発表の準備や練習を行うために、授業時間外にグループで集まることが必要になる。			
履修条件	心と行動Ⅰの単位を取得していることが望ましいが、必須ではない。また、グループでの話し合いで自分の意見を話すことができ、他者の意見を尊重できることが望ましい。			
授業計画				
第1回	行動とは：人間行動学が使える職業、行動の定義			
第2回	人間行動学とは：人間行動学の範囲、研究のマナー、信頼関係を作る、研究を体験する			
第3回	第2回で体験した研究の結果発表 人間行動学の例①人間工学			
第4回	人間行動学の例②文化人類学 ③言語学			
第5回	人間行動学の例④行動政治学 ⑤行動経済学			
第6回	人間行動学の例⑥犯罪行動学 ⑦行動地理学			
第7回	グループ学習Ⅰ：人間行動学の研究法を学ぶ① 探索型の研究法			
第8回	グループ学習Ⅰ：人間行動学の研究法を学ぶ② 観察法			
第9回	グループ学習Ⅰ：人間行動学の研究法を学ぶ③ 調査法（面接法と質問紙法）			
第10回	グループ学習Ⅰ：人間行動学の研究法を学ぶ④ 比較する視点、場面設定			
第11回	グループ学習Ⅱ：研究案を考える			
第12回	グループ学習Ⅱ：研究案を改善する、発表の準備と練習			
第13回	グループ学習Ⅲ：研究案を発表する①			
第14回	グループ学習Ⅲ：研究案を発表する②			
第15回	授業のまとめ：実際に研究をするときの流れ、各研究法の利点と欠点			
第16回	定期試験			
テキスト	使用しない。授業中に資料を配布する。			
参考文献・資料	高野陽太郎・岡隆（編）『心理学研究法 補訂版』（有斐閣，2017年）			
成績評価の方法	平常点（授業態度、提出用プリント）を40%、グループ学習の準備と成果を20%、期末試験を40%として評価する。			
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 【平成28年度（2016）以降入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。			
オフィスアワー	① 毎週月曜 13:00～14:30 ②毎週金曜 13:00～14:30			

学生への メッセージ	授業の計画および授業の内容は状況に応じて変更することがあります。授業中に変更のお知らせをします ので、授業へ積極的に参加してください。
---------------	--